

### 3 学期始業式 講話

#### 「心の鏡」

おはようございます。新年明けましておめでとうございます。年が変わって平成30年になりました。冬休みはどうでしたか。クリスマスにサンタさんは来ましたか？お年玉、がちりゲットできましたか？

今日から3学期のスタートです。1月で年は変わりますが、学校の1年は4月に始まって3月に終わります。これを年度と言います。だから今日の始業式も平成29年度第3学期始業式です。そういう意味では3学期は1年間の最後、つまり、まとめの時期になります。みなさんの学校生活が本当の意味で充実した1年間になるかは1月2月3月のこの3カ月にかかっています。今日から始まる3学期を大切にしてほしいと思います。

さて新年に当たり、今日は「心の鏡」という話をします。みなさんは毎日、鏡を見ますね。髪型や身なりを正すために人は鏡の前に立ちます。鏡は正直です。ありのままの姿をありのままにそこに映し出します。自分のネクタイは曲がっていないとか寝ぐせなんかついていないと頑固に言い張る人がいても鏡を見れば一目瞭然です。だから人はそのあやまちを認め、これを正します。身なりや髪形は鏡で正せるとしても、鏡はその人の心のゆがみまでは映し出しません。だから人はとかく自分の考えや振る舞いのあやまりを自覚しにくいのです。「心の鏡」がないのだから無理もないといえはそれまでですが、実は求める心、謙虚な心があれば「心の鏡」はどこにでもあるのだと思います。自分の周囲にある物、周りにいる人、これらはすべて自分の心を映す「心の鏡」です。全てのものがみなさんの心を映し、全ての人が心に繋がっているからです。「自分が、自分が」と自己中心的に物事を見ている人には「心の鏡」は見えません。どうか自分の周囲をよく見る目を持ってください。どうか周囲の人の声に耳を傾けてください。その謙虚な心、素直な心があれば、人も物も「心の鏡」となって自分の考えや行動が正しいかどうかを映しだしてくれるのだと思います。人間の本当の価値は勉強が出来るとか、お金をたくさん持っているとかで決まるものではありません。本当に大事なものは「心」です。その心を磨くためにもときどき、「心の鏡」を見ることを意識してください。

3学期も元気に頑張りましょう。終わります。